



編集委員が地域の皆さんにインタビュー!

今回は変化するニーズに合わせて宿を大改修された出川昌子さん取材しました。

小久保：リフォームに踏み切ったきっかけは？

出川：主人が亡くなり人生設計が変化しました。主人が病気になってから、たくさん旅に出て、体の具合が悪くても旅に出ると元気になることを知りました。いろいろな思いから体の不自由な人に快適で優しい宿をつくりたいと、リフォームすることにしました。

小久保：今回、東京都の宿泊施設バリアフリー化支援補助金を利用して大改装しましたね。

出川：商工会から勧められ、せっかくやるならと自己資金も投入。バリアフリー化だけでなく、いろいろなお客様のニーズに対応できるように、共同キッチンをつくり、ベッドの和洋室を導入したりしました。

周囲の人の話を聞いてアイデアをもらい、たくさんの人に協力していただいて、いいリフォームができ感謝しています。新島の特色を生かした新島ガラスを宿の至るところに取り入れたら評判が良く、私も気に入っています。

小久保：リフォームしてからの宿経営はいかがですか？

出川：リフォームに伴い、価格改定もしたので、お客さんが来るの心配しましたが、予想外に予約が入りました。バリアフリー仕様を望まれるお客様、ベッドの部屋を望まれるお客様の需要が多いことを確信しました。

小久保：出川さんの考える宿経営のこれからは？

出川：お客様のニーズも多様化しているし、その時代時代に合わせた宿づくりができるようにアンテナを張って、まだまだ進化させたいです。大事なところには、しっかり設備投資をして、宿をよくしていくことが自分自身のやりがいにもなるし、夢が膨らみます。

編集後記

議会・委員会活動が活発化し、ここ数号は議会だよりへ掲載する話題が増えてまいりました。前号のことも議会に加え、今号でも議会運営委員会から提案された一問一答方式の掲載にも取り組みました。議場のやりとり全てを掲載することはかなわないので、内容と臨場感が伝わるような編集を心がけています。

まだまだ手前味噌で不十分な点もありますので、議会だよりの在り方についてアンテナを張って情報を集め、対話の場を含めて読者の皆さまと意見交換できるようにしたいと思っています。

(木村 諭史)

広報編集委員会メンバー
委員長：小久保利佳
副委員長：木村諭史
委員：前田寿夫
：青沼弘



共有キッチン



出川昌子(でがわまさこ)さんプロフィール

東京都清瀬市出身。平成5年に結婚を機に新島へ。島宿治五平女将として、忙しい毎日をご過ごしている二男一女の母。



ベッドタイプ